

会員会社紹介

KDDI株式会社

標準化推進室
鬼頭 孝嗣



KDDIは、第二電電（DDI）、国際電信電話（KDD）、日本移動通信（IDO）の3社が合併し、2000年10月に発足しました。

発足以降、移動通信と固定通信の両方を併せ持つ総合通信事業者として、新しい社会的価値のあるサービスの提供や、高品質で信頼性の高い通信サービスの提供など、事業を通じて豊かなコミュニケーション社会の実現に貢献することを目指しています。

情報通信分野における市場環境は、技術革新やグローバル規模での競争の激化、多様なプレイヤーの参入などを受け、急速な勢いで変化しています。KDDIは、これらの変化をチャンスと捉え、「もっと身近に！」「もっといろんな価値を！」「もっとグローバルへ！」という3つの事業ビジョンと、「3M戦略」「グローバル戦略」の成長戦略を基軸に、新たな成長に向けた変革を進めています。

3つの事業ビジョン

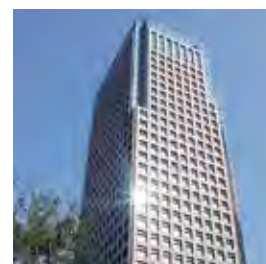
- もっと身近に！
高速で快適な通信環境と魅力あるサービスを提供すると共に、お客様の嗜好に細かく対応します。
- もっといろんな価値を！
医療、健康、教育などの様々な生活シーンや企業活動にかかわり、多様な価値をお客様に提供します。
- もっとグローバルへ！
各国の状況に合わせた通信関連産業の展開や新規市場の開拓により、世界各国のICT環境整備を推進します。

2つの成長戦略

- 3M戦略
「マルチユース」「マルチネットワーク」「マルチデバイス」の3つの頭文字をとった国内事業の戦略で、スマートフォンやタブレット端末など各種デバイスで、繋がりやすい、最適なネットワークを介し、魅力的で多彩なサービスやコンテンツをシームレスに利用いただける通信環境をお届けします。
- グローバル戦略
データセンター、クラウド、海外SI、ネットワークといったグローバルICT基盤を生かし、高付加価値のICTソリューションをワンストップで提供する態勢を強化しています。また、海外におけるコンシューマビジネス等の新規事業展開も推進しています。

これらの事業ビジョンや成長戦略を実現していく上で、情報通信ネットワークの標準化は必要不可欠であり、なおかつ、time to marketに即した標準の作成が重要であると考えています。

KDDIは、今後も、TTCにおいて会員の皆様のご協力を得ながら、標準化活動に積極的に寄与していきたいと存じます。



KDDI飯田橋オフィス